

YELL

メール
第33号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel: 0287 (23) 2177 FAX: 0287 (23) 2193
Mail: nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol. 33 平成27年1月

ステップアップ研修のまとめ

新しい年が明けたと思ったら、あっという間に1月も終わろうとしています。この冬は、例年になく厳しい冷え込みの日が続いていますが、体調など崩されていませんか。

さて、大変遅くなりましたが、今号では、昨年11月に行われた那須地区社会教育主事有資格者ステップアップ研修兼地域教育コーディネーター養成研修について御報告します。研修当日は、社会教育主事有資格教員・地域連携教員41名、行政・公民館職員等11名、地域教育コーディネーター5名の参加がありました。内容は、宇都宮大学教授の廣瀬隆人先生による「学校と地域の連携を考える」と題した講話及び演習でした。

講話では、「貧困家庭の問題」という切り口から、「学校が抱える様々な課題を地域と連携して解決していくべきであり、学校は学校だけでは解決できない問題を解決するために、地域の力を借りる発想をもってほしい。」と廣瀬先生は力強くお話になりました。「地域連携」の新たな視点を示唆していただくと同時に、「地域と連携することの大切さ」を改めて確認することができました。



後半は、中学校区ごとにグループになり、そこへ地域教育コーディネーターや近くの公民館職員等が入り演習を行いました。まず、「学校で困っていること、苦勞していること」などを教員が思いつくままに、付箋紙に書き出しました。それを基に、グループで話し合いながら、「地域の力を借りることができるもの」と「学校でやるべきもの」に、書き出した付箋紙を分ける作業を行いました。作業を進めていくにしたがって、地域コ

ーディネーターからは、「先生って、授業以外にも大変なことが多いんだ。」「そんな仕事は他の人でもできるでしょ。」「学校と地域とでは、学校の比重が多過ぎるように感じた。」などの声が聞こえてきました。



そして、参加した地域教育コーディネーターや公民館職員の方お一人ずつから、「地域は学校のためにできることは、何でも協力したいと思っている。ぜひ、地域に声をかけてください。一緒に頑張りましょう。」などの言葉かけをいただきました。



最後に、廣瀬先生から「教員はなかなか SOS を出さないけれど、地域には学校を助けようと思ってくれている人がこんなにいるんだよ。勇気をもって SOS を出して、地域とともに子どもたちを育てていきたいね。地域との連携をそれぞれの立場で進めていってください。」とまとめの言葉がありました。

これから年度末に向かって、忙しい時期を迎えますが、ぜひ各学校でも「それぞれの教職員が困っていることや地域に手伝ってもらいたいこと」などを書き出す作業（個人でもいいので）をやってみませんか。やってみると、地域の力を借りる新しい視点が出てくるかもしれません。ぜひ、地域の力を借りて、来年度の教育活動を充実させてみませんか。